

第35回定期九州本部大会 宇都宮代議員が議長 荒木代議員が報告

九州本部は8月29日、福岡市「中小企業振興センター」で第35回定期九州本部大会を開催した。議長に長崎地区本部宇都宮代議員が選出され、「活動の原点は地区本部、分会、それを支えるのが組合員、若い力。組織問題を最重要課題として、国労に加入した当時の信念を忘れず取組んでいきたい」と就任挨拶。

千々岩九州本部執行委員長は、5か年計画について「組織・財政を継続発展させていく為に議論が重要」、安全問題で「触車事故、車両事故など重大事故・インシデントが多発。新幹線ホームの無人化、駅の無人化・委託化や窓口の縮小など要員廃止が加速するために安全とサービスを守る闘いが必要」、来年度の同一労働・同一賃金に向けた法改正で「正規・非正規の賃金格差を是正する取組が必要」と述べた。

中央本部松川委員長より、「5年ビジョンについて認識の共有と議論の継続、組織拡大が最大の課題。成果が求められることは否定しないが、その過程こそが組合運動。それぞれの職場の取組み、闘いこそが全国単一の国労組織を支えている」と提起された。



【千々岩委員長の音頭で「団結ガンバロー」、議長就任の宇都宮代議員、報告する荒木代議員】

議題に入り、香田（博多）代議員は、「職場には、『会社に何を言っても変わらない』と社員に諦めが浸透している。光は『若い力』。国労は、種をまき芽を育てられる唯一の労働組合である」と発言。

荒木（長崎）代議員は、この1年間の原爆慰霊祭式典を含めた平和運動など地区本部の取組みを報告。駅・車掌職場において特別警戒腕章着用について問題提起。「格差問題について会社・職場内における賃金、休暇、社宅問題等での格差に改善が求められる」。等、9名から意見や報告が出された。

最後に、岩元書記長が、「この一年、多くの諸課題に直面してきたが、最大の課題が組織問題、分会、地区本部とオルグ活動を展開し意識を共有し取組んでいきたい。組織の人数は減少しているが、国労の発言は決して小さくなってはならない。微力であっても、無力ではない。全組合員が自信と確信を持ち立ち向かうことが必要」と集約した。最後に千々岩執行委員長の「団結ガンバロー」で閉会した。（神近）

職協総会 営業分科



【長崎地区本部事務所で開催された営業分科総会】

8月8日に九州エリア営業分科職協の総会を行いました。

出席者は北九・博多・長崎の各地区本部から1名、鹿児島地区本部から2名と九州本部から岩元書記長と全国営業分科職協事務局長の豊納さん（吉祥寺駅）が出席し議長の島田と事務長の方原さんの合計9名が出席しました。

組織拡大・駅の委託化などの意見が多く、組合員数が少ないと運動も衰退してしまう等や駅の委託化で宇島駅は午前と午後に営業を行うため買いたい時に買えない状況になっている等の意見がありました。

夕方からは懇親会で全員参加しました。翌日の原爆慰霊式にも全員参加しました。（島田）